

東京都済生会中央病院で診療を受けられる皆様へ

東京都済生会中央病院（以下、当院）では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどございましたら、以下の【お問合せ先】へご連絡ください。

【研究の名称】

だいたいしつかどうみやくびょうへん
大腿膝窩動脈病変に留置したステントグラフトの閉塞、狭窄後の経過：多施設・
へいそく きょうさくご
後ろ向き研究

【研究機関及び研究責任者】

研究機関：東京都済生会中央病院・循環器科

研究責任者：鈴木 健之

【研究の目的】

大腿膝窩動脈病変を有する症候性の閉塞性動脈硬化症患者さんに対して留置した、ステントグラフトの閉塞、狭窄後の処置方法を検討することと、その後の臨床的経過を検討すること。

【研究の方法及び期間】

研究の方法：通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。

研究期間：当院の臨床研究倫理審査委員会承認後から 2019 年 6 月 30 日

【研究の対象者の選定について】

・対象となる患者さん

2016 年 11 月から 2018 年 12 月までに、当院において大腿膝窩動脈病変を有する症候性の閉塞性動脈硬化症患者さんで、ステントグラフトを留置し再狭窄、再閉塞した患者さん。

・利用する診療情報

- ① スtentグラフトが詰まったときの状況と、その治療方法。その後の経過について
- ② 採血データや、心電図等

【対象となる患者さんに生じる負担ならびに予測されるリスクおよび利益】

本研究は通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行われるため、患者さんへの新たな負担、リスクおよび利益は発生しないと考えます。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用いたしません。また、ご自身のデータを研究に利用することを承認されない方は以下の【問い合わせ先】にご連絡ください。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

【本研究の実施について】

本研究は、東京都済生会中央病院臨床研究倫理審査委員会による審査の上、研究機関の長による承認を得て実施しております。

【問い合わせ先】

東京都港区三田 1-4-17

東京都済生会中央病院

担当 循環器科 鈴木 健之

電話 03-3451-8211

2019年4月9日：1版